

2025 vol.79 6月定例会

つわの議会だより

青原小学校5・6年生



議場の様子

嘆願書提出



津和野小学校6年生



忙しいあなたへ

5分でわかる6月定例会議

議会だよりの内容を目次として簡単にまとめました

P3

一般会計補正予算

総額 105 億円に

5月臨時会にて日原地域活動拠点施設の工事費 4.9 億円を承認。
6月定例会にて道の駅なごみの里の省エネ再エネ化工事費 4.6 億円を承認。
国体に向けた池河体育館へのスポーツライミングウォール設置費 6400 万円を承認。

P4

条例・契約・請願

18 歳以上の軽度・中程度難聴者を対象として補聴器の購入にかかる費用の助成を求める請願を採択。

P5

全員協議会 (議決の無い協議や報告の場合)

町有林整備での J クレジットを活用し森林整備の財源確保に取り組む。
にちはら福祉会とつわの福祉会は R8 年 4 月に合併予定。当面、両施設での業務は継続。

P6

各議員の賛否 委員会報告

文教民生常任委員会では高校支援について調査。高校支援における人材の組織化は効果発揮している一方、予算も多額。一層の町民連携の促進する支援が必要。

P7

議員定数及び報酬等 調査特別委員会

議員全員で定数と報酬についての検討を行っている。
中間報告として定数は現状の 12 名。議員報酬は原価方式で検討した 24 万 9 千円にすべきと議長へ報告。

一般質問

議員が設定したテーマについて町の現状や方針を問う。
持ち時間は 60 分。

P8 御手洗 剛

1. 公民館厨房施設
2. 町長任期満了

P9 大江 梨

1. 学校給食及び町内施設での地産地消等の推進

P10 横山 元志

1. 国民スポーツ大会及び町内ボルトリング施設等の管理運営の現状
2. 動物愛護管理法に基づいた本町の施策

P11 寺戸 昌子

1. 健康保険証
2. 高齢者支援

P12 米澤 宏文

1. 道の駅なごみの里に子どもの遊び場
2. 日本最古の25億年前の石の展示
3. 熊対策

P13 道信 俊昭

1. 起死回生の策
2. 津和野町民センターの改修工事に併せて
3. 公用車の取り扱い

P14 田中海太郎

1. 地域おこし協力隊と集落支援員
2. 児童生徒の国語力

P15 川田 剛

1. 防災行政

P16

議会傍聴の感想 編集後記

6 月 20 日定例会最終日を傍聴した津和野小学校と青原小学校の児童の感想。



令和7年度 一般会計補正予算（第1号）

5月臨時会（5月23日）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億1632万円を追加し歳入歳出予算の総額を99億1232万円とするもの

「主な歳出」

〈千円以下切り捨て〉

教育費

- 社会教育総務費 日原地域活動拠点施設整備工事監理業務委託料 …… 2036万円
 - 工事請負費 …… 4億9500万円
- など

令和7年度 一般会計補正予算（第2号）

6月定例会（6月13日～20日）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億94万円を追加し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ105億1327万円とするもの

「主な歳出」

〈千円以下切り捨て〉

総務費

- コミュニティ助成事業補助金（まちづくり委員会等対象） …… 320万円
- 地域公共交通再編計画策定業務委託料
（日原・津和野間交通空白時間帯解消に向けた実証実験） …… 443万円
- 道の駅なごみの里ZEB化改修工事
（道の駅なごみの里省エネ・脱炭素化） …… 4億6179万円
- 物価高騰対策重点支援給付金（低所得者支援等給付金） …… 2938万円
- 低所得者支援及び定額減税補足給付金にかかるシステム改修費
（上記給付金のシステム） …… 239万円

農林水産費

- 水田園芸拠点づくり事業補助金
（水田から指定野菜へ）（水稻の作付面積は減らさない） …… 275万円
- 認定農業者機械等整備補助金 …… 852万円
- 原木チップヤード沈砂池修繕費 …… 132万円

土木費

- 日原地区側溝整備工事及び町道和田中線側溝整備工事 道路維持費 …… 2202万円
- 須川地内本溢川護岸改修工事 河川改修費 …… 301万円

消防費

- 避難所用間仕切り・段ボールベッドなど 消耗品費 …… 233万円
- 組立トランク型自動ラップ式トイレ 備品購入費 …… 189万円

教育費

- 池河体育館スポーツライミングウォール設置工事 …… 6410万円

令和7年5月臨時会(5/23)
専決処分の承認を求めることに
ついて

●津和野町税条例の一部を改
正する条例

●津和野町国民健康税条例の
一部を改正する条例

いずれも上位法の改正によるもの

令和7年6月定例会

契 約

●道路維持車の取得

金額 835万3450円

期限 令和8年3月31日

受注者 (有)日栄産業

●津和野町日原地域活動拠点施設建設工事請負契約の締結

金額 4億7,630万円

完成 令和8年3月31日

受注者 堀建設株式会社

●小型動力ポンプ付軽積載車の取得

金額 822万8000円

期限 令和8年3月31日

受注者 (株)クマヒラセキユティ松江支店

条 例 廃 止

津和野町交流センターの設置及び管理に関する条例の廃止

条 例 の 制 定

●津和野町交流センターの設置及び管理に関する条例

利用料

食堂(1時間)

1000~3000円

宿泊利用(1泊)

1000~3万円

●年末年始の休日変更による納期変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

公共施設における年末年始の休日変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

条 例 の 改 正

◎津和野町下水道条例の一部改正

◎津和野町水道事業給水条例の一部改正

災害時等において、他の自治体が指定した者に工事を行わせることができるようにするもの

◎津和野テニスコートの設置及び管理に関する条例の一部改正

使用料

コート1面につき1時間 5000円



喜時雨運動公園内にあるテニスコート

◎津和野町郷土館の設置及び管理に関する条例の一部改正
◎桑原史成写真美術館の設置及び管理に関する条例の一部改正

ともに津和野民族資料館の閉館により共通入館料を廃止するもの

指 定 管 理

津和野町医療近接型住宅

氏名 医療法人 橘井堂

指定期間

令和7年7月1日から

令和11年3月31日まで



医療近接型住宅

路 線 認 定

- 町道坂上の谷線(青原)
- 町道芦谷中の原線(池村)
- 町道奥の湍線(相撲ヶ原)
- 町道コブケ線(左澄)

請 願

補聴器購入助成の実施に関する請願

請願者

島根大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授

外2名

紹介議員

川田 剛
寺戸 昌子
御手洗 剛
三浦 英治
田中海太郎
道信 俊昭

請願要旨

身体障害者手帳の交付基準に該当しない18歳以上の軽度・中等度難聴者を対象として、補聴器購入費用の助成を求めるもの。



全員協議会

◆脱炭素実現に向けた津和野温泉なごみの里における省エネ化改修及び再エネ導入工事

施設の省エネ化や再生可能エネルギーの導入により脱炭素化を図ると同時に、老朽化が進む施設の修繕も行う計画。

当初の提案では施設全体の省エネ化（温浴施設のボイラー更新、複層ガラス・LED化、空調の更新）と再エネ化（太陽光発電と蓄電池導入）を行う案であったが、財源として予定していた環境省の補助金が一対対象とならないという事が判明。

改めて審議を行ない、議会からは事業費の圧縮や景観への懸念等から太陽光の導入を見送る意見が出た。

また、その後に開催された景観審議会においても、太陽光発電に関する景観計画や条例制定の後に、導入を検討すべきではないかとの意見が出された。

それらの意見を踏まえ、執行部より再度、太陽光を除く省エネ化のみの改修案が示さ

れ、6月議会にて予算上程される事となった。

◆Jクレジット・赤石山町有林森林整備事業

Jクレジットとは森林管理等による取り組みによって排出削減・吸収された温室効果ガスをクレジットとして国が認証し、そのクレジットの売却や購入ができる制度。

津和野町では赤石山町有林の整備を進めており、その取り組みをクレジット認証、売却することで森林整備の財源確保を目指すもの。

森林整備にかかる費用、またクレジット認証も第三者機関が行うため毎年費用が発生するが、国からの補助金や木材販売による収入、Jクレジット売却による収入を差し引くと年平均560万円の黒字になる予定。



◆介護事業を営む社会福祉法人の統合

将来を見据えた介護サービスのあり方を考える中で、吉賀町のように、社会福祉協議会を軸として、介護事業を担う社会福祉法人（津和野町社会福祉協議会・つわの福祉会・にちはら福祉会）が統合することにより、スケールメリットを活かした安定的な運営を図ることを目指すもの。



これまでの三者協議の結果、津和野町社会福祉協議会より、時期尚早との回答があり、2法人での統合検討に移行。

今後の基本方針としては、にちはら福祉会がつわの福祉会を吸収合併して存続し、つわの福祉会は解散する。

合併時期は令和8年4月1日。合併後も当面は両施設にて現在の事業が継続される。

津和野町社会福祉協議会も含めての将来的な統合時期や施設の施設・統合については未定であり、今後検討される。

なお、利用者や利用家族、地域への説明は11月に予定されている。

◆ペンション北斗星の再稼働に向けて

枕瀬山森林公園休養休憩施設（ペンション北斗星）は新たな指定管理者の下、7月7日にリニューアルオープン予定である。

オープンに向けて指定管理者の意向を踏まえた施設改修工事が完了しているが、消防設備、厨房給湯、ガス栓等に不良箇所が発見された。修繕費は約42万円。至急修繕の対応したいとのこと。

なお、施設へと向かう町道北斗台線は工事が完了。施設の愛称も新たに公募されており、7月2日に新たな愛称が決定する。



提出者	議案・賛否表 ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席	道	大	米	横	御	三	田	寺	川	結 果
		信	江	澤	山	手	浦	中	戸	田	
町 長	令和7年第2回（5月）津和野町議会臨時会 5月23日開催										
	【専決処分】津和野町税条例の一部改正	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	承認
	【専決処分】津和野町国民健康保険税条例の一部改正	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	承認
	令和7年津和野町一般会計補正予算（第1号）	●	欠	○	●	○	欠	○	○	○	可決
町	令和7年第3回（6月）津和野町議会定例会 6月13日から6月20日まで開催										
	道路維持車の取得	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	津和野町交流センターの設置及び管理に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	// 条例の制定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	年末年始の休日変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	公共施設における年末年始の休日変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	津和野町下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	津和野町テニスコートの設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	津和野町郷土館の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	桑原史成写真美術館の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	津和野町水道事業給水条例の一部改正	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	公の施設の指定管理者の指定（津和野町医療近接型住宅）	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	町道坂上の谷線の路線認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	町道芦谷中の原線の路線認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	町道奥の湓線の路線認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	町道コブケ線の路線認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	令和7年度津和野町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	// 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	// 介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	// 水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	// 日原地域活動拠点施設建設工事請負契約の締結	●	○	○	●	○	欠	○	○	○	可決
	小型動力ポンプ付軽積載車の取得	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
請願	補聴器購入助成の実施に関する請願	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	採択
委員会	津和野町議会ハラスメント根絶条例の一部改正	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決

文教民生常任委員会

【調査事項】

高校支援

【調査概要】

津和野高校は、近年急激な入学者の減少により、学校存続の危機に立たされ、様々な対策を講じてきた。

教育魅力化の内容

●津和野教育魅力化コーディネーター配置業務

総合的な探求の時間や生徒がやりたい活動を支援する
令和6年度 3名

●教育魅力化コンソーシアム構築事業

教育魅力化事業を町内や近隣市町にも広げ、町の活性化に波及させることを目的とする。

●町営塾 HAN-KOH

令和6年度 マネージャー 1名
英語を中心とした学習支援と学習環境の提供を、高校同窓会館と町営塾日原で行う。
また小中学校で英語活動を支援するコーディネーターも配置、令和6年度 講師 1名（アルバイト支援スタッフ数名）
英語コーディネーター 1名

●地域力創造アドバイザー派遣事業

1丁の専門的知見をもって、高校の授業構築や教員の支援を行う。

●教育魅力化情報発信

当町の教育活動周知のため、様々な媒体を通じて情報発信を行う。

【調査意見】

◎高校支援が一つの組織として、魅力化を推進し、良い効果を発揮している。また、当町の未来を担う人材育成の事業にも取り組んでいる。

◎高校支援には多くの予算を投じているので、より一層町民と連携できるように支援すべき。

◎コンソーシアム構築事業を、より広く理解してもらえらるよう、分かり易く表現すべき。

◎高校支援を担う職員が短期間で変わることがないように支援すべき。

◎アンケート等で入学動機の把握に努め、今後活かすべき。

◎東京事務所と連携を取って、首都圏への情報提供・収集に努めるべき。

議員定数及び報酬等調査特別委員会中間報告

調査報告

津和野町議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例（平成17年津和野町条例第40号）第3条に規定される議員報酬の額は、令和8年5月1日から、表のとおりとすべきと決し、議長に報告した。

議員報酬の増額については、現在全国の地方議会では実施されており、県内でも多くの議会が実施していることから、議員報酬の増額分については国からの交付税措置が図られるよう、議長において島根県町村議会議長会等を通じて国に働き掛けていただくようお願いしたい。本特別委員会の目的を達するため、引き続き継続調査とする。

これまでの経緯

「津和野町議会に求められる役割と責任を今後も十分に果たしていくため、本議会における適正な議員定数及び議員報酬等について調査、研究を行うことを目的」とし、令和6年第5回（6月）定例会において本委員会を設置。

令和6年9月定例会において議員定数は現状の12人とすることを報告。

その後、原価方式を採用し、議員報酬について検討を行ってきた。

原価方式

議員報酬＝議員の実働日数／首長の実働日数×首長給料
＝議員の実働日数／305日×73万円

区 分	単 位	新報酬の額（円）	現在の報酬額（円）
議 長	月 額	35万4千円	28万円
副 議 長	月 額	29万8千円	23万6千円
議 員	月 額	24万9千円	19万7千円
委 員 長	月 額	26万2千円	20万7千円

原価方式により算出された各議員報酬

各議員の実働日数に首長の実働日数305日、首長の給料730,000円を原価方式にあてはめ算出した議員報酬

	公務の日数	議日×0.8	実働日数計	報酬(円)
A	32	—	32	76,590
B	57	26.4	83.4	199,613
C	72	20.8	92.8	222,111
D	57	39.2	96.2	230,249
E	70	30.4	100.4	240,302
F	68	35.2	103.2	247,003
G	56	48	104	248,918
H	63	49.6	112.6	269,502
I	60	81.6	141.6	338,911
議長	72	77.6	149.6	358,059
K	74	82.4	156.4	374,334

議員報酬の検討

最大値と最小値、議長を除外した

月額報酬の平均は249,576円となる

	公務の日数	議日×0.8	実働日数	報酬(円)	
A	32	—	32	76,590	最小値
B	57	26.4	83.4	199,613	
C	72	20.8	92.8	222,111	
D	57	39.2	96.2	230,249	
E	70	30.4	100.4	240,302	
F	68	35.2	103.2	247,003	
G	56	48	104	248,918	
H	63	49.6	112.6	269,502	
I	60	81.6	141.6	338,911	
議長	72	77.6	149.6	358,059	議長
K	74	82.4	156.4	374,334	最大値
平均				249,576	

Q 公民館厨房施設改善は

A 利用頻度や安全性等を考慮し、優先順位をつけて実施



み たらい つよし
御手洗 剛 議員

問

公民館は地域における住民活動の拠点である。社会教育法第20条で、「公民館は市町村その他一定区域内の住民のために、実生活に即する教育、学術および文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目指す」としている。

現在、町内には10の公民館があり、子ども達から高齢の方々まで幅広い世代で活用されている。

また近年は、地球温暖化の影響が顕著で毎年の様に自然災害が多発している。

その際、公民館は地域住民の方々の避難所としても利用されている。

そのような中であって、一部の公民館で厨房施設の利用頻度の多い、食生活改善グループや婦人会等の皆様方からは、厨房施設の老朽化による劣化で利用しづらく、環境美化や衛生上にも問題があるとして、改善を求める声を多く聞く。

流し台や戸棚等備品を含む厨房施設の改善についての見

解と今後の対応は。

教育長

現在、町内には10カ所の公民館があり、地域の拠点として重要な役割を担っている。各公民館は建設から40年以上が経過している施設が多く、老朽化が進んでいる状況にある。

厨房施設（調理室）においても同様に長年の使用による劣化が見られ、環境美化や衛生面での課題があるとの声を利用者の皆様から聞いている。町としても、皆様が安心・

Q 次期町長選に向け出馬の意向は

A 出馬し、人口減少対策を始め、諸課題解決に身を捧げたい

問

町長の任期は、本年10月末となっている。次期町長選に向け出馬の意向は。

4期16年間の施策の検証、並びに今後取り組むべき課題・展望は。

町長 在任中、当町の重要な課題である人口減少対策に全力を挙げてきたが、十分な成果が出ているとは言い難い。

これまでの間、様々な社会課題の解決に真摯に取り組んできた一方で、未然に顕在化させない対策にも先行して取り組み、結果を出してきたとも

安全に施設を活用頂けるよう、厨房施設を含めた改修が必要であると認識している。

しかし、町の厳しい財政状況の中、すべての公民館の施設改修を一挙に進めることは難しいのが実情である。

必要に応じて修繕・更新を行い、利用頻度や安全性等を考慮し、優先順位をつけて実施していく。

引き続き、可能な限り不便を感じることのないよう、施設環境の維持改善に努めていく。

自負している。

こうした中、年明けより様々な方々から叱咤激励を受け、今後多くの社会課題の解決に先頭立って、向き合っていくべきであるというものであった。

厳しい環境にある中山間地域の介護福祉事業、高齢化が進展するに比例して重要性を増す交通対策、老朽化する上下水道施設や道路、橋梁、トンネル等の安全対策、気候変動により激甚化する災害へのハード・ソフト両面からの備えなど、直面する課題は複雑

かつ多岐にわたっている。

こうした課題に対して背を向けることなく、これまでの経験と培ってきたネットワークを解決に活かしていくことが、私に与えられた使命と受けとめている。

人口減少対策は、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し取り組んで来た中において、0歳児からの人づくり事業による教育の魅力化が一定の評価を頂き、定住や関係人口増へとつながる成果が少しずつながら認められ始めるようになっていく。

当町が今後も信念をもって進める定住対策の柱は構築されたと認めているところであり、更なる4年間において人口減少対策のチャレンジの機会を与えて頂けるならば、成果を出すため邁進してまいりたい。





おお え れい
大江 梨 議員

Q 学校給食における地産地消は

A 試行的に取り組む

問 学校給食における物価高騰の影響は。

教育長 物価高騰により給食費は値上げをしなくてはならない状況。

2025（令和7）年度の給食費は前年と比較して一食当たり42円を増額しているが、国の交付金の活用と町の補填額を増やすことにより、保護者負担は前年度と変わらない。価格高騰による質や量の低下はないか。

教育長 例年通りで問題ない。

問 給食センター化以前の23（令和5）年度の地産地消率とセンター化後の24（令和6）年度の地産地消率は。

教育長 23（令和5）年度は28・9％で、24（令和6）年度は21・1％である。

問 24（令和6）年度の地元産利用はほぼ米のみとなっている。地産地消の目標値と達成するための課題は。

教育長 まずは23（令和5）年度の水準を目標に検討を進めていきたい。

給食センター化以前に野菜を納品していただいていた生産者の皆様の高齢化等で納品

に協力いただける方が少なくなっている。

また、当日調理分を当日配送というルールもある。

問 センター化後に法人や若手農家からも給食への提供を行いたいとの希望を聞いている。

仕組み化と配送が課題と考

教育長 給食センターへの配送を試行的に行うための予算を6月の補正予算に上げている。

問 先般、JAいわみ中央本部と江津市の地産地消の取り組みについて話を伺ってきた。（資料参照）給食のみで地産地消を推進する人材を配置することは供給量を考えても難しいのではないか。

給食に限らず、町内の病院や施設、寮、保育園、飲食店等も含めて地産地消を進めるためにはどのような体制が理想であると考えているか。

町長 数年前になるが、地域おこし協力隊による津和野マルシェの取組の中で、生産者と飲食店や給食をつなぐ調整や配送の取組を行ったが、継続には至っていない。

それは消費者ニーズと生産者の体制作りが十分にできなかったことなど様々な課題があった。地産地消を進めていくためには、配送は課題となっている。

今回の補正予算で学校給食への配送の実証実験を行う事としたが、実は当初の要望は数百万円規模のものであり、最初から多額の経常経費となるようなものは難しいと回答した経緯がある。

配送に大きな経費がかかるのであれば、その分を給食費の負担軽減に使った方が保護者の方には喜んでいただけるのではないかと考えている。どちらが良いという事ではなく、そのような議論も行なっていく必要があるのではないかと、このことを教育委員会には投げかけた。

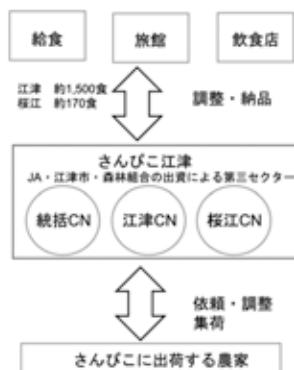
これまでの取り組みの検証を再度行いながら、各地の取り組みも参考にし、当町にあった仕組みを考えていきたい。

問 地産地消の取り組みについて、買い物支援を行うつわの暮らし推進課も含め、農林課、教育委員会、どこが主導となって進めていくべきか。

それは消費者ニーズと生産者の体制作りが十分にできなかったことなど様々な課題があった。地産地消を進めていくためには、配送は課題となっている。

JA いわみ中央本部と江津市の連携による地産地消の取り組み

コーディネータが「さんびこ江津」を拠点として直売所の充実、給食や飲食点等での地産地消の推進のために活動。コーディネーターの費用は JA と江津市が折半で負担しており、所属は JA となる。



町長 現時点ではわからないというのが正直な感想。その他の機関としては地域包括支援センターも含まれるかもしれない。まずは、今回の教育委員会の実証実験を各課に共有し検証していくことになる。

Q 2030年の国スポはもう5年しかないか、まだ5年あるのか

A もう5年しかない



よこやま もとし
横山 元志 議員

問

2025(令和7)年3月定例会において文教民生常任委員会の所管事務調査報告書にあった、課題や調査意見等を踏まえた現状を聞く。

施設管理者の課題と対応方針について、鍵の受け渡しの簡素化は具体的な方針はかたまっていないとのことだが、検討の進捗状況は。

教育長

津和野中学校は教育委員会、日原特定公園(日原カントリーパーク)は池河公民館、それぞれ職員がいる時間帯で鍵を受け取る必要がある。利用者からは業務時間内に受け取りに行くのが難しいというご意見もあるが、業務時間外に職員を配置することは、維持管理費の増加につながるため、当面は現行の運用を継続する。

問

30(令和12)年の国スポまで、もう5年しかないと思うか、それともまだ5年あると思うか。

教育長

もう5年しかないと考えている。

問

私も、もう5年しかないと考えている。選手強化もだが競技役員の育成も、また町内外へ向け機運を

高めるためにも、始めのうちは無駄になるかもしれないが、各施設に競技団体の方などに常駐していただき、フットと来た人でも体験できる環境を整える必要があると思うが。

教育長

競技団体や山岳連盟の方も仕事や色々な事情があるので常駐は難しいが、クラブチームは週4回、大人は週2回練習をしている。

また町民向けに体験会を今後企画していきたい。

問

鍵の受け渡しや施設の管理など、公民館の業務ではないと考えるが。

教育長

池河体育館については公民館併設の施設なので使用申請や鍵の開け閉めは池河公民館の事業として行っている。旧木部中学校体育館も同様に木部公民館の事業として行っている。

津和野中学校は教育委員会で becoming している。

問

しかし、使用申請や鍵の管理を行っているということ、使用者からの意見や要望などは、どうし

ても公民館に向けられる、公民館にとっても業務外の業務が発生する状況であるから、経常経費の増加にはなるが、常駐の必要性はあると考える。

教育長

機運を高める方法として、常駐職員等を配置したい意見もわかるが、やはり維持管理費の増加につながるもので現時点では難しい。

問

津和野中学校のボルダール壁の増設は確認しているが、本大会に向けての施設整備はいつからか。

教育長

ボルダールウォールについては常設で27(令和9)年の予定。リードウォールについては常設・仮設を含め県と協議中。

問

先日、山口市にある国スポ本大会で使った施設を視察し、併せて当町の子ども達もその施設にて練習しているとのことで見学させてもらった。また指導をしていただいている先生とお話をさせていただいた。

Q

動物愛護及び管理に関する法律に基づいて

当町にて条例制定等は

A 現時点で考えていない

そのお話しの中で、なるべく早く本大会で使用するウォールを建設し、ウォールにされたほうがいいし、ホールも高額なものなので毎年買いつけていくほうがいい。

この施設は建設費は膨大だが、維持管理費はそうかかるものではないとのことだった。あと5年しかないと思われるのであれば早期建設したほうがいいと考えるが。

教育長

ご意見参考にしながら検討したい。

問

競技団体・県・町で連携協定を結び、また当町には島根県一高い山「安蔵寺山」があり、島根県の山岳競技は津和野町という印象をつけるためにも常設がいいと考えるが。

教育長

日本山岳・スポーツクライミング協会や島根県山岳・スポーツクライミング連盟からも常設してほしいとの要望があり、議員からの指摘も参考にしながら県とも協議していきたい。



寺戸 昌子 議員

Q 健康保険証の有効期限が切れたらどうなるのか

A マイナ保険証を持たない方は資格確認書で受診できる

問

政府は昨年12月、世論の反対を押し切つて従来の健康保険証の新規発行を停止した。急速に行つたため混乱が起きている。

マイナ保険証の登録をしていない方は、国民健康保険被保険者証の有効期限が切れた場合、どうすればよいのか。

町長 これまでの被保険者証に変わる「資格確認書」を発行する。更新などの手続きをする必要はない。

有効な被保険者証の期限が切れる本年7月31日までに、マイナ保険証の利用登録をされていない被保険者のもとに発送する予定にしている。

医療機関を受診の時、これを提示することになる。

後期高齢者医療保険の被保険者には、混乱を避けるために暫定的な運用として、マイナ保険証の保有状況の有無にかかわらず、「資格確認書」を発行している。

問

制度が変わる節目に不安を持つ住民からの声を聞く。津和野町でも混乱が起きないように、申請なしで「資格確認書」が届くことなど早めに周知を。

また、マイナンバーカード

は発行から10年が有効期限（18歳以上）になっている。

しかし、医療機関を受診する際にマイナ保険証は格納されている「利用者証明用電子証明書」で本人を確認する。

電子証明書の有効期限は、カード発行から5回目の誕生日になっている。

マイナンバーカードとは、有効期限が異なる。このことを知らない住民が多数いる。

マイナ保険証を利用している方はどうなる。

町長 発効日から5年目の誕生日が有効期限。事前に本人に更新に関する知らせが届く。更新を希望する方は、役場窓口で手続きを行うことになる。

本人が希望して更新するものなので、町として申告漏れを把握することはできない。



津和野町ホームページより

Q 今後、介護サービスは維持されるのか

A 町としても介護事業所を可能な限り支援していく

問

津和野町の高齢者の現状は。

町長 本年6月1日現在、表のとおり。

	人口 (人)	世帯数
津和野町全体	6,307	3,190
高齢者	3,202	
高齢者の世帯	961	961

問

津和野町では、十分な介護が受けられる施策と高齢者に元気で長生きしてもらう施策が不可欠だ。

今後、介護サービスは維持されるのか。

町長 にちはら福祉会とつわの福祉会の統合に向けた具体的な協議を進めていくことで合意した。

合併協議会を立ち上げ、来春の合併を目途に具体的な協議を進めている。

合併により発足する法人がスケールメリットを生かして、町内の介護サービスの課題の解決と地域づくりに貢献できる介護福祉の新たな受け皿となれるよう、町としても可能な限り支援していく。

問

政府は、「新総合事業」として要支援者のサポートをそれまでの国の事業から分離し市区町村に任せる改定をした。

津和野町では「新総合事業」としてどのようなものが行われるのか。

町長 新たな事業として、津和野共存病院との連携による訪問リハビリテーション事業を検討している。

事業対象者に対し、最長6カ月間の個別集中リハビリテーションが行われるなかで、利用者の自宅を訪問するなど、その人の状態に合わせて生活を「作る」ような支援を検討している。

改定で、町独自の事業ができるようになったメリットを活かしていく。



よねざわ ひろふみ
米澤 宏文 議員

Q 道の駅なごみの里に子どもの遊び場

A 指定管理者とともに検討する

問 町の男性の方の声である。

観光客誘致・津和野町の子育て支援対策で道の駅なごみの里のグラウンドゴルフ場の東屋付近に子どもの遊び場を整備するべきではないか。

町長 グラウンドゴルフ場を活用した遊び場の提供は、施設を利用する方々の満足度に繋がることは期待できる。

新たなグラウンドゴルフ場建設は多大な予算が必要となる。

敷地全体を公園と見立て、周遊しながら過ごせる環境を作れないか、指定管理者とともに検討する。

問 浜田市の「子どもが請願」し完成した

Q 日本最古の25億年前の石の展示

A 土地所有者のご理解・ご協力を得ながら今後の展示等進めていく

問 町の主婦の方の声を建設計している。

JR津和野駅前に「日本最古の25億年前の石」の展示。S1が復活し大きな宣伝効果が期待できるがなぜ表に出せないのか。

日本一の石の観光資源を最大に生かすべきではないか。これまで日本最古の石を所有している岐阜県七宗町では

「松原公園」は面積700㎡。あずまや付近の2コースの移転と3コースの一部移転で整備できる。

町長 グラウンドゴルフ場の所は立地的に良いと思う。

グラウンドゴルフ利用者の意向を調査し今後、脱炭素部局等の関連部署と連携し協議する。

浜田市 松原公園
子どもの請願で設備された
浜田市役所近く 約700㎡



あずまや ベンチあり

立派な「日本最古の石博物館」を建設している。

教育長 JR津和野駅前に展示は盗難や、き損に留意が必要となりJR駅構内の観光協会窓口に展示してもらう等検討する。

問 盗難対策として20kg程度の石の展示でなく、1トン〜2トンを展示

してはどうか。

鉾脈は東西20km、南北500m。

所有者のご理解を頂き是非実行を。

教育長 展示スペースを考慮し検討。

問 郷土館で盗難に遭った石の警察の捜査状況は。

Q 改正鳥獣保護管理法成立後の対応

A 関係機関と連携し、より安全な地域社会実現に向けて取り組む

問 県内で熊の目撃情報

報が2023(令和5)年度過去最大となっており、人的被害も全国で過去最多の219人、内死亡が6人に上った。

町長 市街地で銃猟可が25(令和7)年、人的被害防止対策として閣議決定された。

施行日はクマの出没が増える秋までを目指す。

人の日常生活圏に現れた場合、安全を確保した上で市町村長がハンターに緊急銃猟を委託する仕組み。

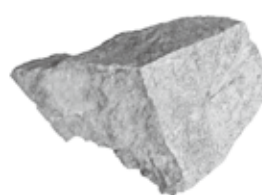
問 クマ発見第1報はど

町長 津和野町農林課または警察。

※本庁舎・津和野庁舎に連絡で各関係機関に伝わる仕

教育長 現在のところ発見の報告はない。

日本最古の25億年前の石
盗難にくい1トンから2トンの
岩石を津和野駅前に展示



組み。

問 町内の銃猟ハンターの人数・ハンターとの委託状況。

町長 ハンターは19名、地域の安全を守るため尽力されている。

問 麻酔銃の用意。

町長 所有していない。

問 麻酔吹き矢の用意。

町長 所有していない。

盛岡市の市街地に出没したツキノロ熊
令和7年4月2日 読売新聞





みちのぶ としあき
道信 俊昭 議員

Q 今や、新しいリーダーに変わるべきである

A これから本格的な「人口減少対策」に取り組んでいきたい

問

津和野町の人口は、町長就任当時の2009(平成21)年はおおよそ8900人であった。今は6300人である。さらに4年後は5300人になると予想されている。

島根県では消滅可能性自治体ワーストワンにもなっている。このような状況の中打つべき起死回生の策はあるのか。

町長 人口減少は、社会構造の変化、価値観の多様化など複数の要因が複雑に絡み合っていて生じている課題であって、起死回生策は難しいと考えている。人口減少対策は、今や多くの自治体に共通する全国的課題である。

国は現在、地方創生の基本的な考え方として、人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じていくとしており、当面は人口減少のフェーズが続くことを前提としている。

課題解決策には、まずその構造を明確にすることが重要であるが、その構造が非常に複雑であり、これをすれば解決するという決定打はない。しかしながら様々な対応策を講じ続けていくことが解決

の糸口を見つけていくことにつながる。

当町においても策を講じているが、それは途に就いたばかりである。

問

人口が2600人、30%減少した事実から「国や多くの自治体に共通する全国的課題」と一言で片付けてもよいものか。

政治家は「結果責任」であることを町長はどのように考えているのか。

さらに「解決策の糸口を見つけていく」とか「事業展開は途に就いたばかり」とか「人口減少対策に全力を挙げてきたが十分な結果が出ているとはいえない」との言葉があり、町長自身も「4期16年という歳月を踏まえ、この度けじめをつけるべきだ」との考えを持つこともあったと認めている。私も新しいリーダーに変わるべきだと思う。

町長 人口減少の結果は重く受け止めているが、就任当初「豪雨災害」や「ケーブルテレビの光ファイバー化の事業」等の様々な困難な対策に追われてきた。これから本格的な「人口減少対策」に取り組んでいきたい。

Q 津和野町民センターの改修工事に併せて文化ホールの機能を

A 財源を踏まえて検討したい

問

津和野自治会連合会と津和野地域文化協会から「津和野町民センターへの文化ホール機能の整備について」の要望書が出された。

要旨は「津和野町民センターの耐震改修工事に併せ、同施設に文化ホール機能を持たせた施設を追加整備していただきたい」というものである。

理由は、当町は長い歴史の中で育まれ、保存継承されてきた多くの伝統芸能に加え、地域文化に根ざした新たな芸能も創出され、各種団体の積極的活動は地域の活性化に大

いに貢献している。特にユネスコ無形文化遺産に登録された鷺舞神事をはじめ400年の歴史を持つ津和野踊り、石見神楽等、年間を通じて数多くの公演や交流を行っている。

津和野町の生き残りをかけた策と思われるが、この要望に対してどのように答えるか。

教育長 町としてもその価値は十分に認識している。

しかし、現在の当町の厳しい財政を踏まえ整備に係る初期費用のみならず、維持管理費や運営体制の確保といった観点からも検討したい。

Q 公用車の更新に伴う処分は

A 不用の決定ができる

問

公用車の更新に伴う処分は、どのような規定になっているのか。

町長 公用車は備品の取り扱いとなっており、財務規則の規定によることとなる。

同規則第130条では「物品管理者は、使用の必要がないと認める物品があるときは、不用の決定をすることができ。」「物品管理者は、不

用の決定した物品のうち売り払うことができないものについては、廃棄の決定をするものとする」と規定されている。

公用車の更新に伴う処分の現状は、車両の経年劣化により車両検査に高額な経費が必要となる場合等、車両の安全確保・車両維持が困難となった場合、不用の決定を行い廃棄している。



たなか うみ た ろう
田中 海太郎 議員

Q 地域おこし協力隊・集落支援員に求めるものとは

A 幅広い分野における地域活性化に期待している

問 当町では現在、地域おこし協力隊7名、集落支援員30名である。

町長 町長はどの位把握しているか。

町長 概ねの活動を把握している。

問 地域おこし協力隊の目的としては、定住なのか、地域の活性化なのか、どちらに重きを置くか。

町長 どちらも重要。定住を目的とする方もいれば、3年間住むことで、地域の魅力を感じてもらえたい。

問 彼らの活動を町民が知る機会はあるのか。

町長 彼らの活動を通して知ってもらうている。

問 それでは、関わりがない町民には知る機会はないのでは。彼らの活動を知らないがために、批判が生まれたり、誤解が生じることもある。

広報や報告会、冊子を作るなどして、様々な媒体でPRすべき。

町長 現在、県公式HP「しまね地域おこし協力隊Note」があるのでそれを活用していきたい。ほかに、様々

なところで積極的に広報していきたい。

問 地域おこし協力隊・集落支援員の評価制度はあるのか。

町長 ない。

問 要綱では、計画書や報告書を定期的に町長に提出とあるが、評価制度がないのであれば、そこで活動状況を把握して、町の方向性とずれてきたら、アドバイスなり、指導をすべきではないか。

時に町民からの厳しい指摘を受けたりすることもある。

町長 彼らの良さを活かすためには、行政が余り口出しせず、自由に活動する事が、新しい発想を生んだりする。ただ見かねる場合には、ストップをかけることもあ

る。現在、1年、1回の町長との意見交換会も行って

いる。

	地域おこし協力隊	集落支援員
活動期間	最長3年(1年~3年)	制限(上限)なし
対象者	都市部からの移住者	地域の実情に詳しい者
給与(月額)	18万8千円	16万6千円
活動費(上限)	200万円	500万円から給与除いた額
活動内容	定住・定着を図るため ・農林水産業の振興 ・地域資源の発掘振興 ・地域の定住対策	地域の状況調査点検 ・地域課題の把握分析 ・課題解決の検討及び実施 ・地域と関係機関との連携

Q 児童生徒の国語力の低下を危惧するが

A 児童生徒の育成に資するための環境整備を図る

問 昨年の学力テストで国語正答率58・4%で前年比11・7ポイント低下しているが、国語力の低下は感じるか。

教育長 一概には判断できないが、低下しているとは感じる。

問 当町は英語力向上とデジタル推進に予算をつけ、力を入れているが、国語は全ての教科の基本になる。国語コーディネーターも導入すべきではないか。

教育長 教育指導要領改定により、外国語が新たに学科として入ってきた。その環境整備が必要となった。国語は既に学科としてある。

問 英語やデジタル推進は文科省からの指導であるが、その一方で、審議会等においては、国語力向上を提起している。もっと教育長がリーダーシップを取って、町独自の教育方針で国語力を強化するべきでないか。

教育長 国語は学科の基礎ではあるものの、各学校にはカリキュラムに基づき授業を行っている。

一方で朝読書をする事で国語力の強化にも取り組んでいる。

問 現在教育の現場では、本を丸ごと使った国語の授業や、国語と他教科の連携の取組も始まっている。

津和野は森鷗外・西周といった言語の先達が生まれ、世界に羽ばたいていった。津和野の子どもたちも、英語やデジタルよりも、もっと国語力を高めていくべきだ。

子どもたちに、森鷗外の作品を1年間読むという取組をやってみてはどうか。

教育長 カリキュラムの関係もあり、1年間読むのは難しいが、森鷗外や西周を学ぶ場は必要である。総合的な学習で、副読本『津和野町の歴史』を通して進めていきたい。

全国学習塾先生アンケートより

生徒の読解力・語彙力を向上するため、家庭でしてほしいことベスト3

- ・言葉の意味を調べる習慣をつける
- ・読書をする
- ・音読をする



かわだ つよし
川田 剛 議員

Q 防災のDX化を推進すべき

A 効果を検証したい

問

新総合防災情報システム(SOBO-WEB)は、災害情報を地理空間情報とした共有システムで、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」(2022(令和4)年6月閣議決定)において「防災」、「健康・医療・介護」、「教育」などをプラットフォーム整備に重点的に取り組む分野と位置づけ、25(令和7)年までの実装を目標としている。

津和野町では、SOBO-WEBのアカウントを取得し、データの連携を行っているか。

町長 島根県総合防災システムから連携することが想定されるため、アカウントの取得、データの連携は行っていない。

今後島根県のシステムがSOBO-WEBと連携された場合、活用されるものと考えている。

問

内閣府では20(令和2)年度から、迅速かつ円滑な被災者への物資支援を実現するための物資調達・輸送調整等支援システムを運用している。

本年4月からは、機能を継承しつつ、視認性や操作性を向上させ、物資支援業務へ精

通していない職員でも利用しやすいシステムに改修し、新物資システム(B-PLC)の運用を開始している。

津和野町は、B-PLCの情報を更新しているか。

町長 本年4月時点の主な備蓄物資の在庫情報の更新を行っている。

実践での活用経験はないが、操作訓練の参加等により、本システムの習熟を図りたい。

問

実際に物資輸送を想定した訓練を実施すべき。

町長 検討したい。

問

被災者支援に係る業務の迅速化・効率化のため、「クラウド型被災者支援システム」が22(令和4)年度から運用開始されている。

このシステムによって、住民基本台帳との自動連携で、避難行動要支援者名簿の更新作業や罹災証明の発行など、業務が大幅に簡略化され、被災者・職員共に負担の軽減が図られることが訓練で確認されている。

24(令和6)年度実施のシステム活用調査では、「被災者台帳の作成・提供等」のデ

ジタル化の状況は、システム利用40%、EXCERなど内製で対応10%、システム導入なし50%である。

当町は、クラウド型被災者支援システムを導入しているか。

町長 当町では、クラウド型システムを導入していない。

システム整備は有効な手段の一つと考えているが、既存システムの改修や導入・維持に係る費用負担や平時に活用できる機能など、導入にあたって効果の検証が必要。

他市町村の活用状況などを踏まえ検証したい。

問

デジタル化の状況は。

町長 データで管理している。

問

防災におけるデジタルトランスフォーメーション(防災DX)について町長の所見を求める。

町長 有効な取り組みと考えている。費用対効果や利用の見込みなどを検証し最適な防災対応に努めたい。

問

災害時には、地域の消防団に対応を求めることがあるが、津和野町消防団員数は350人定員に対し実数272人(令和6年

4月時点)で、団員の確保が急務である。

特に役場職員が団員に占める割合が大きく、職員の昇進による退団は消防団の活動に大きな影響を与えているが、このことについて町長の所見を求める。

町長 重要な課題であると認識している。





議会傍聴者の感想



6月20日(金)6月定例会最終日、補正予算・条例・契約案件への質疑と採決の時間に津和野小学校6年生24名、青原小学校5・6年生10名が傍聴に来てくださいました。

みなさんの感想をいくつかご紹介したいと思います。

《感想》

- ◎静かに始まったけれど、大事な議題になると急に手が上がり、活発に話し合いが始まってすごいと思った。
- ◎自分たちにも関係のある話（理科の備品や道路のことなど）をしていて、驚いた。
- ◎町民のことを思って、真剣に話し合っている姿がかっこよかった。
- ◎ボタンを使って賛成・反対を決めることが分かった。
- ◎意見を言う時には議長に手を挙げることで、可決されると町長が礼をすることが分かった。
- ◎議長の進行がスムーズで、学級会でも真似してみたいと思った。
- ◎内容は難しかったけれど、一生懸命に町のために話し合っていることが伝わった。
- ◎話し合いの進むスピードが早かったし、議題の中の金額も大きくて驚いた。
- ◎課長さんたちが議員さんからの質問に素早く答えていてすごいと思いました。
- ◎（執行部と議員が）向かい合ってしゃべっていて、緊張しないのかと不思議に思いました。一人がしゃべったら、また一人がしゃべってどんどん話し合いが進んでいくなと思いました。



《小学生有志の児童から嘆願書を頂きました》

- ◎2030年の国スポに向け代表選手になれるようがんばっています。しかし、各ボルダリング施設には空調がないため困っています。空調の整備をしてほしいです。

編集後記

6月21日の夏至が過ぎ、これから12月22日の冬至まで日々、日照時間が短くなります。

「つわの議会だより」編集員

6名は、読み易い議会だより作成に取り組みんでいます。

議会だより3月号表紙 丸山達也島根県知事 鷲原八幡宮流鏑馬神事総奉行就任写真掲載



今回、本誌は2ページに目を次を記載し、項目が一目で分かるようにしました。

私たち「つわの議会だより」編集員の任期は改選までの来年4月となります。

これからも読み易い紙面作成に取り組めます。ご感想を津和野町議会事務局にお寄せ頂きますようお願いいたします。

米澤 容文

広報広聴常任委員会

◎横山 元志 ○田中海太郎
大江 梨 米澤 宏文
三浦 英治 川田 剛